

大洲市民文化会館整備基本計画

(案)

令和4年〇月

大 洲 市

目次

はじめに	1
1. 基本計画策定の経緯	1
2. 上位計画における施設整備の位置づけ	2
3. 施設の役割等	3
4. 基本方針.....	3
第1章 建設予定地.....	4
1. 建設予定地の概要	4
2. 建設予定地における施設整備の考え方（配置・周辺連携イメージ）	5
第2章 施設計画.....	7
1. 施設構成.....	7
2. ホールエリア	7
3. 創造支援エリア.....	10
4. 交流エリア.....	11
5. 管理運営エリア.....	12
6. 防災機能.....	12
7. 屋外スペース	12
8. 駐車場.....	12
9. 全体施設想定規模.....	13
10. その他.....	13
第3章 管理運営に関する考え方.....	14
1. 管理運営の基本的な考え方	14
2. 事業の方針.....	14
3. 運営組織等.....	15
(1) 組織・体制の考え方	
(2) 管理運営主体	
(3) 管理運営業務	
4. 施設利用の考え方.....	16
5. 市民参加に関する考え方.....	17
第4章 概算事業費と整備手法の検討.....	18
1. 概算事業費.....	18

2. 整備手法の検討.....	18
第5章 整備スケジュール.....	19

はじめに

1. 基本計画策定の経緯

昭和43年に整備された大洲市民会館（以下「市民会館」という。）は、翌年の開館以来、本市の文化・芸術の拠点として多くの市民に親しまれてきました。その一方で、建設から53年が経過し老朽化が進行していることから、市民会館の役割を担う新たな文化施設として大洲市民文化会館を整備することとしています。

大洲市民文化会館整備に向け、令和3年7月に施設の基本方針や必要な機能などについてまとめた「大洲市民文化会館（仮称）整備基本構想」（以下「基本構想」という。）を策定しました。

今回、この基本方針等を実現するため、前年度に引き続き、中・高校生や利用団体関係者、一般応募者など、多世代の方の参加による市民ワークショップを開催するとともに、庁内検討委員会での検討や文化関係団体、地域の代表者等で構成された「大洲市民文化会館建設検討審議会」における様々な意見や調査審議を経て、具体的な諸室の規模や機能、管理運営の考え方などを示した「大洲市民文化会館整備基本計画」（以下「基本計画」という。）を策定したものです。

2. 上位計画における施設整備の位置づけ

本基本計画に関連する大洲市の上位計画には、次のようなものがあります。

【関連する市の上位計画等】

第2次大洲市総合計画[2017年度～2026年度の10年間]
<総合計画におけるまちの将来像> きらめくおおず～みんな輝く肱川流域のまち～ <総合計画における基本目標3「文化きらめくまちづくり」施策の大綱> 施策の大綱3-1 教育の振興 基本計画 施策1-2 就学前教育の充実 主要施策1：家庭や地域との連携強化 主要施策2：保育所・幼稚園における教育の充実 施策1-3 学校教育の充実 主要施策1：確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成 主要施策2：郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成 主要施策3：個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進 主要施策4：子どもと向き合う教育環境づくり 主要施策5：学校施設・設備・環境の充実 施策1-4 社会教育の充実 主要施策1：青少年の健全育成 主要施策2：社会教育事業の推進 施策の大綱3-2 文化・芸術・スポーツの振興 基本計画 施策1-5 文化・芸術・スポーツの振興 主要施策1：文化・芸術の振興 主要施策2：スポーツの振興と健康・体力づくりの推進
大洲都市計画区域マスタープラン[目標年次：おおむね20年後の2038年まで]
大洲市復興計画[計画期間：2018年度～2023年度の6年間]
大洲市公共施設等総合管理計画[計画期間：2016年度～2025年度の10年間]

3. 施設の役割等

大洲市民文化会館は、様々な舞台芸術の鑑賞や文化芸術活動の場としてだけでなく、まちづくりの重要な拠点としての役割を果たすことが期待されています。また、施設整備を通じて、現市民会館の抱える課題の解決を図るとともに、多様な文化芸術活動に対し柔軟な対応ができ、かつ、市民が日頃から気軽に集える交流拠点としての施設整備が求められています。

4. 基本方針

令和3年7月に策定した基本構想では、大洲市民文化会館の整備目的に加え、それを実現するために必要な基本目標を以下のように定めました。

目的	『文化芸術と市民交流』拠点施設の整備
基本目標①：文化芸術に触れる機会を充実させる	
音楽や演劇、地域の伝統芸能など、多様な文化芸術を鑑賞する機会を提供し、特に、子どもたちが身近に文化芸術に触れる環境を整え、豊かな感性を育みます。	
基本目標②：幅広い創造活動の拠点となる	
日常的な練習の場と同時に、その成果を披露できる場を用意し、文化芸術の創造と発展を促進します。また、はじめての人でも気軽に参加できる活動から、更なる高みを目指して本格的に取り組む活動まで幅広い文化芸術活動を支えます。	
基本目標③：地域の文化・芸術を未来につなぐ	
地域の民俗芸能や伝統文化の保存・伝承活動の支援に取り組むとともに、地域文化資源への関心を高め、価値を再発見することで、大洲市独自の文化の持続的な発展を促進します。 また、子どもの頃から、地域の文化に触れる機会を創出することで、未来へつなぐ人材育成を図っていきます。	
基本目標④：親しみを持てる憩いの場を提供する	
誰でも気軽に施設に訪れ、日常的に文化芸術に触れながら、世代や活動団体の垣根を超えた幅広いコミュニケーションの創出の場、市民に親しまれる「交流の場」となるよう目指します。	
基本目標⑤：市民の安心・安全を支える	
バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、利便性・快適性を高めるとともに、水害や大規模地震などの自然災害発生時や非常時において、市民の安心・安全を支えられるよう、災害に強い施設整備を目指します。	

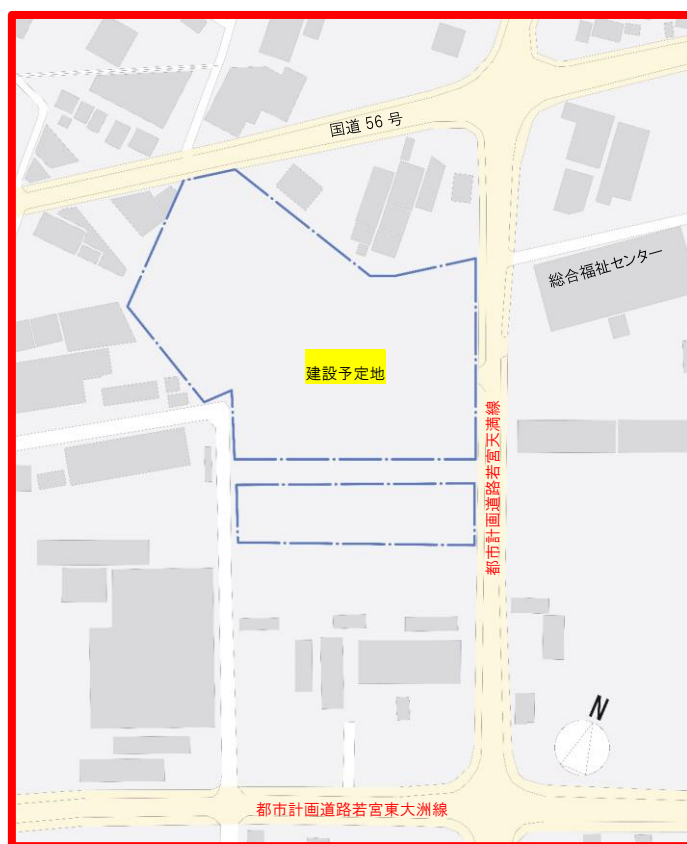
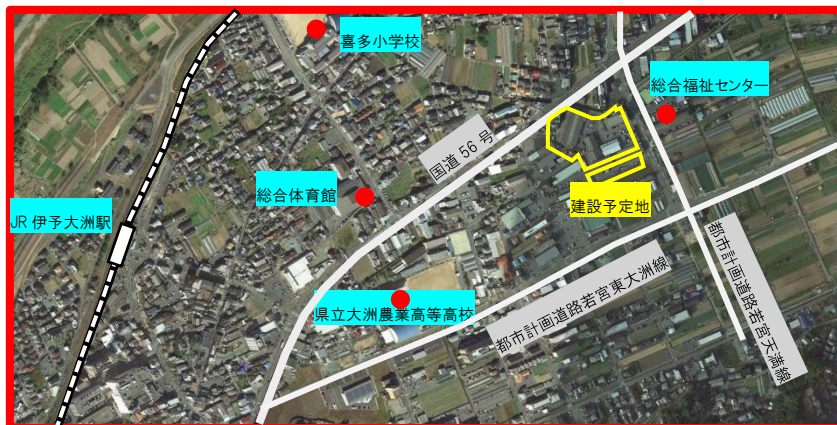
第1章 建設予定地

1. 建設予定地の概要

建設予定地については、基本構想において、立地適正化計画をもとに3か所の建設候補地を抽出し、比較・評価を行い、「愛媛たいき農業協同組合移転後の用地」を選定しました。

【基礎情報】

項目		内容	
所在地		愛媛県大洲市東大洲 198 外	
用地面積		約 13,300 m ² (近商 12,000 m ² 、第一種住居 1,300 m ²) うち私有地約 1,000 m ²	
所有者		JA・個人	
用途地域		近隣商業地域 第一種住居地域	
立地	アクセス	公共交通機関	JR (最寄り駅：JR 伊予大洲駅 徒歩 15分) 市内循環バス「ぐるりんおおず」 (最寄りバス停：総合福祉センター)
		道路	国道 56 号から都市計画道路若宮天満線 都市計画道路若宮東大洲線から都市計画道路若宮天満線
		大型車両の交通	可
	周辺地域 補完機能	文化教育	総合体育館、博物館、肱北公民館、喜多児童館、東大洲こども園、喜多小学校、大洲北中学校、県立大洲農業高等学校
		公共施設等	総合福祉センター、愛媛県大洲庁舎、国土交通省大洲河川国道事務所 外
	敷地	建築条件	建ぺい率
容積率			200%
高さ制限			なし
接道道路		北側	11m (歩道 1.5m、車道 (路肩含む) 8.0m、歩道 1.5m)
		南側	なし
		東側	12m (歩道 2.5m、車道 (路肩含む) 7.0m、歩道 2.5m)
	西側	6.7m	



2. 建設予定地における施設整備の考え方（配置・周辺連携イメージ）

建設予定地の東側には総合福祉センターが隣接し、市内公共交通バスが運行しているほか、JR伊予大洲駅からも徒歩圏内であり、近隣には県立大洲農業高等学校や総合体育館など、学校や公共施設等が分布して連携しやすい立地となっています。

また、当該建設予定地は、**国道56号及び都市計画道路若宮天満線**に隣接するとともに、**都市計画道路若宮東大洲線**に近接するなど、幹線道が整備されていることから、市内外か

らの来場車や大型車両などが容易にアクセスできます。

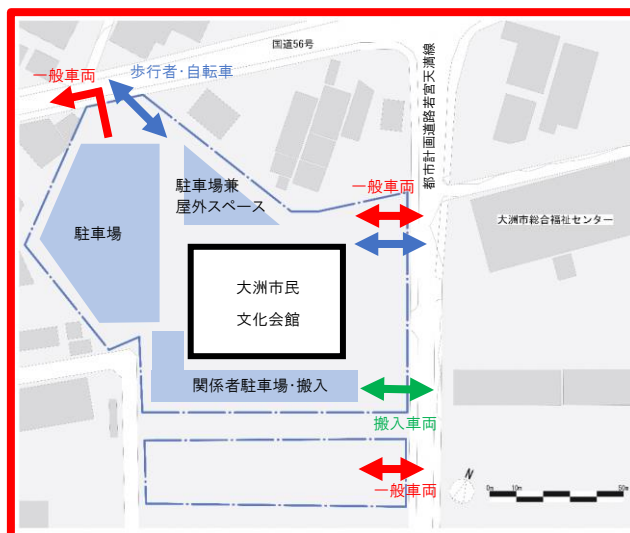
これらのことを踏まえ、大洲市民文化会館の建物及び諸室の配置においては、近隣の一般住宅や施設等に対して、建物による日影や圧迫感の軽減に配慮するとともに、搬出入する大型車両やバス、来場者の自家用車の集中による事故などの危険性増大や騒音、振動等の影響を極力抑えるよう配慮します。

さらに、ハザードマップの予想浸水深など、災害リスクを考慮した施設整備にも配慮します。

【配置の考え方】

- ・ 歩行者及び自転車の主要なアクセスは、国道56号及び都市計画道路若宮天満線を想定し、車両との動線を明確化することで安全の確保を図ります。
- ・ 一般車両及び関係者・搬出入車両は都市計画道路若宮天満線からの進入を想定し、動線を明確化することで安全の確保を図ります。
- ・ 国道56号側へ車両の退路を確保し、終演後の混雑を軽減します。
- ・ ロビーとホワイエ※1は一体的に利用しやすい配置とします。
- ・ サブホールは、メインホールと連携しやすい配置とします。
- ・ 機械室や防災備蓄庫は、水害等を考慮し2階以上への配置とします。
- ・ 市民が気軽に訪れることができる魅力的な場所となるよう配慮します。
- ・ このほか、平成30年7月の豪雨災害及び南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえ、災害に強い施設整備を行います。

【配置イメージ】

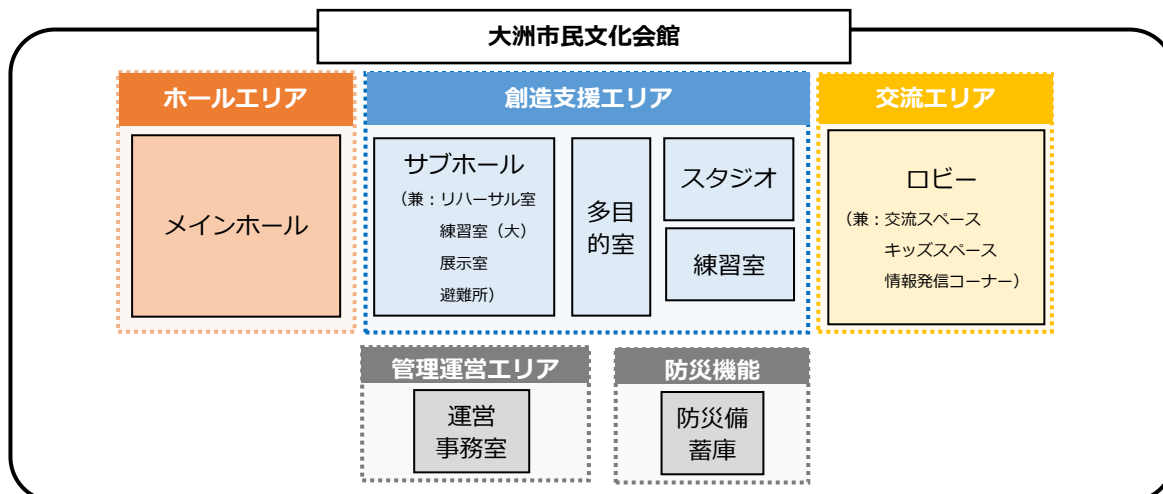


※1 劇場のチケットもぎりから観客席へ至るまでの共用空間で、開演前や休憩中に観客が時間を過ごすための場所となる。

第2章 施設計画

1. 施設構成

大洲市民文化会館は以下のような施設構成とします。



2. ホールエリア

メインホールは、市民の活動や発表、学校間の交流イベント、プロの公演など様々な用途に使用できるものとします。

客席については、音響効果や舞台の見やすさ、利用者の動線等、利便性にも配慮します。

舞台については、十分な広さの確保やバックヤードスペースの充実などを図り、搬出入動線等にも配慮します。

① 客席

(ア) 客席は700～778席（現市民会館と同等）程度の固定席とし、2層構成とします。

(イ) 催しの規模に応じて1階客席のみの利用ができるようにします。

(ウ) どの客席からも舞台がよく見える配置とし、良好な鑑賞環境を確保します。

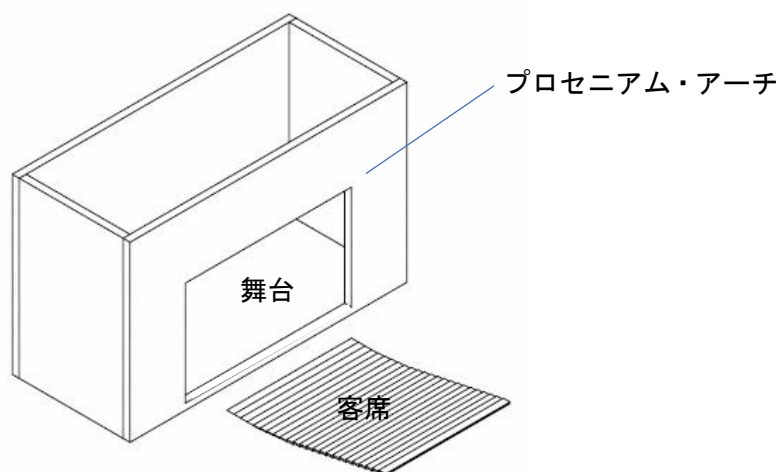
(エ) ゆとりのある客席に配慮するとともに、障がいのある人や高齢者にも優しく、親子でも安心して鑑賞ができるよう配慮します。

(オ) 講演会での発表や映像の上映にも対応できるよう、プロジェクター等の設備や備品を確保します。

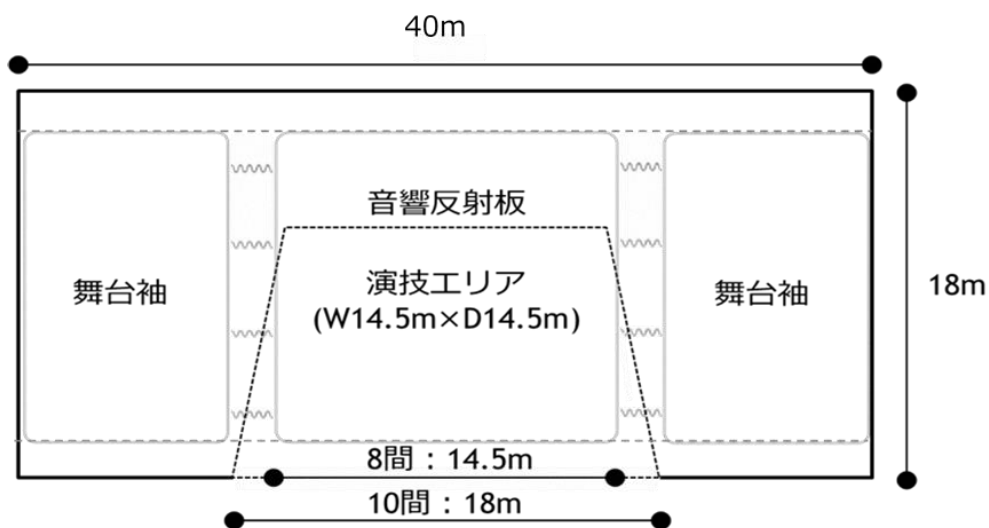
(カ) 持込機材（音響調整卓、調光操作卓等）が設置できるようにします。

② 舞台

- (ア) プロセニウム形式^{※2}を基本としつつ、客席への演出拡張も配慮します。
- (イ) 様々な演目に対応できる十分なサイズの舞台を設けます。
- (ウ) 主舞台サイズは、幅 14.5m (8間) ×奥行き 14.5m (8間) 程度とし、幕形式で十分な高さとしします。
- (エ) 音響反射板^{※3}を設置し、音響にも配慮します。
- (オ) 舞台袖は、上手・下手ともに十分なサイズを設けます。



プロセニウム形式の概念図



想定舞台寸法

※2 客席と舞台を額縁となる構造物（プロセニウム・アーチという）によって区切る舞台形式のこと

※3 舞台上での生演奏に対応するために設置される音響効果用の壁

③ ホワイエ

- (ア) 来館者が開演前や休憩時間に憩い、くつろげる空間とします。
- (イ) ホールが使われていない時にはホワイエ単独あるいはロビーと連携し一体的に利用できるように配慮します。
- (ウ) 十分な数のトイレを設け、待機場所についても配慮します。
- (エ) 主催者が利用できる控室を確保します。臨時のクローク・荷物預かり所としての利用ができるよう配慮します。
- (オ) 壁面を展示利用できるようにします。

④ 楽屋

- (ア) 多数の出演者に対応でき、かつ、十分な設備も備えた大・中・小の楽屋等を設けます。
- (イ) 一部の楽屋は防音機能を備え、直前のリハーサル仕様等にも対応できるように配慮します。
- (ウ) 楽屋は、置き畳を備え、着物の着替えにも対応できるように配慮します。
- (エ) ホール利用がないときは、楽屋を会議室として貸し出し、共用部とのつながりにも配慮します。
- (オ) 楽屋事務室、トイレ、シャワールーム、給湯エリア、倉庫等を設けます。

⑤ 搬出入口

- (ア) 11tトラック等の大型車両での搬出入が容易にできるようにします。
- (イ) 一般車両との動線の交錯を避けた動線計画とし、利便性及び安全性を確保します。
- (ウ) 搬出入は舞台に近接して設置し、十分な動線と荷捌きスペースを確保します。
- (エ) 悪天候時や夜間作業時に、屋内で荷おろしができるように配慮します。

⑥ 倉庫

- (ア) 大道具備品や舞台等で利用する音響・照明機材を収納するための舞台備品庫を、舞台に近い位置に設けます。
- (イ) 恒温恒湿に保つことのできる良好な環境のピアノ庫を、舞台の近くに設けます。また、メインホールとサブホールで共用できる配置とします。

【ホールエリア諸室（想定）】

種別	諸室等	備考
客席関係	客席	固定席 700～778 席程度、2 層構成
	親子室	多目的鑑賞室
舞台関係	舞台	プロセニウム形式 幅 40m×奥行 18m (主舞台 幅 14.5m×奥行 14.5m)
	舞台備品庫	
	照明・音響器具庫	
	ピアノ庫	
	アンプ室	
	搬出入ヤード	
ホワイエ関係	ホワイエ	
	主催者控室	
	トイレ	
	ホワイエ備品庫	
技術諸室	調光・音響操作室	
	投光室	
楽屋関係	楽屋	大楽屋、中楽屋、小楽屋
	スタッフ控室	
	楽屋ロビー	給湯
	楽屋事務室	
	楽屋トイレ	
	シャワールーム	
	楽屋備品倉庫	
	洗濯室	
面積		2,500 m ²

3. 創造支援エリア

創造支援エリアの諸室は、各種練習や創作活動、会議、ワークショップ等、市民の日常的な文化芸術活動を支援する場として、市民が利用しやすい諸室構成とします。

ホールエリアや交流エリアとの一体的な利用を想定し、連携しやすい配置とします。

① サブホール

(ア) 客席数 200 席程度を想定した可動席平土間ホールとします。

(イ) メインホールのリハーサル利用を想定し、平土間となる面積は、できる限りメインホールの主舞台と同程度の面積を確保します。

(ウ) 発表会やリハーサル・練習利用、展示利用、避難所利用など様々な利用に対応できるようにします。

(エ) 音楽発表会を想定し、室内音響や防音性能等に配慮した仕様とします。

(オ) 展示利用を想定し、可動間仕切りや移動式照明を設置します。

(カ) サブホール用控室・備品倉庫を設置します。

② 練習室

(ア) ダンスの練習などに利用可能な練習室（鏡張り・バレエのバーなど）を設けます。

(イ) 楽器演奏やダンス練習等に対応し、防音性能等にも配慮します。

③ スタジオ

(ア) 少人数での音楽利用に対応したスタジオを設けます。

(イ) 楽器演奏に対応し、防音性能等にも配慮します。

④ 多目的室

(ア) 水回りを収納した多目的室を設けます。

(イ) 災害時にも使用できるよう、必要な設備や備品等を確保します。

【創造支援エリア諸室（想定）】

エリア	諸室等	備考
創造支援エリア	サブホール	平土間、控室、倉庫を含む リハーサル室、練習室、展示室、避難所を兼ねる
	練習室	鏡張り
	スタジオ	防音
	多目的室	水回り
面積	560 m ²	

4. 交流エリア

交流エリアは、他エリアと面積を調整しつつ、世代・団体を越えた交流の場として各種機能をまとめます。

ロビー

(ア) 学生の勉強などに利用できるスペースやキッズスペース、自動販売機等、市民が利用しやすい空間となるようなスペースを設けます。

(イ) キッズスペースは、安全第一で利用しやすいレイアウトとします。

(ウ) 物販・飲食などに利用できるスペースを確保します。

(エ) 壁面に展示壁を想定し、ピクチャーレールやライティングレールを設置するとともに、情報発信コーナーとしても利用できるよう配慮します。

(オ) FREE Wi-Fiなどのネット環境整備やデジタルサイネージ^{※4}を活用した情報発信等にも配慮します。

※4 ディスプレイなどの電子的な機器を使用して様々な情報を発信するシステム

【エリア諸室（想定）】

エリア	諸室等	備考
交流エリア	ロビー	交流スペース、キッズスペース、 情報発信コーナー等を兼ねる
面積	250 m ²	

5. 管理運営エリア

施設管理者の常駐スペースとして、運営者及び舞台技術者等の事務スペースを確保します。また、ホール利用者の打合せ用スペースも確保します。

【エリア諸室（想定）】

エリア	諸室等	備考
管理運営	運営者事務室	給湯、更衣室、ロッカーなど
	技術者控室	
	打合せスペース	
	事務室トイレ	
面積	150 m ²	

6. 防災機能

大規模災害時の避難所利用を想定し、防災備蓄庫を設置します。また、水害に備えて、2階以上のエリアに設置するなど配慮します。

なお、その他の防災機能については、大洲市民文化会館の役割を果たすために整備する諸室等の仕様の中で、空間、機能等を最大限活用できるよう配慮します。

【エリア諸室（想定）】

エリア	諸室等	備考
防災機能	防災備蓄庫	2階以上に設置
	(避難スペース)	サブホール、ロビー、ホワイエ、諸室を利用
	(シャワー室)	楽屋シャワーを利用
	(太陽光発電システム、蓄電池)	
面積	60 m ²	

7. 屋外スペース

駐車台数の最大化を前提としつつ、屋外イベントスペースや日頃から市民が気軽に集えるスペースが確保できるよう配慮します。

8. 駐車場

駐車場は、周辺での追加整備も含めて300台程度を確保できるよう配慮します。

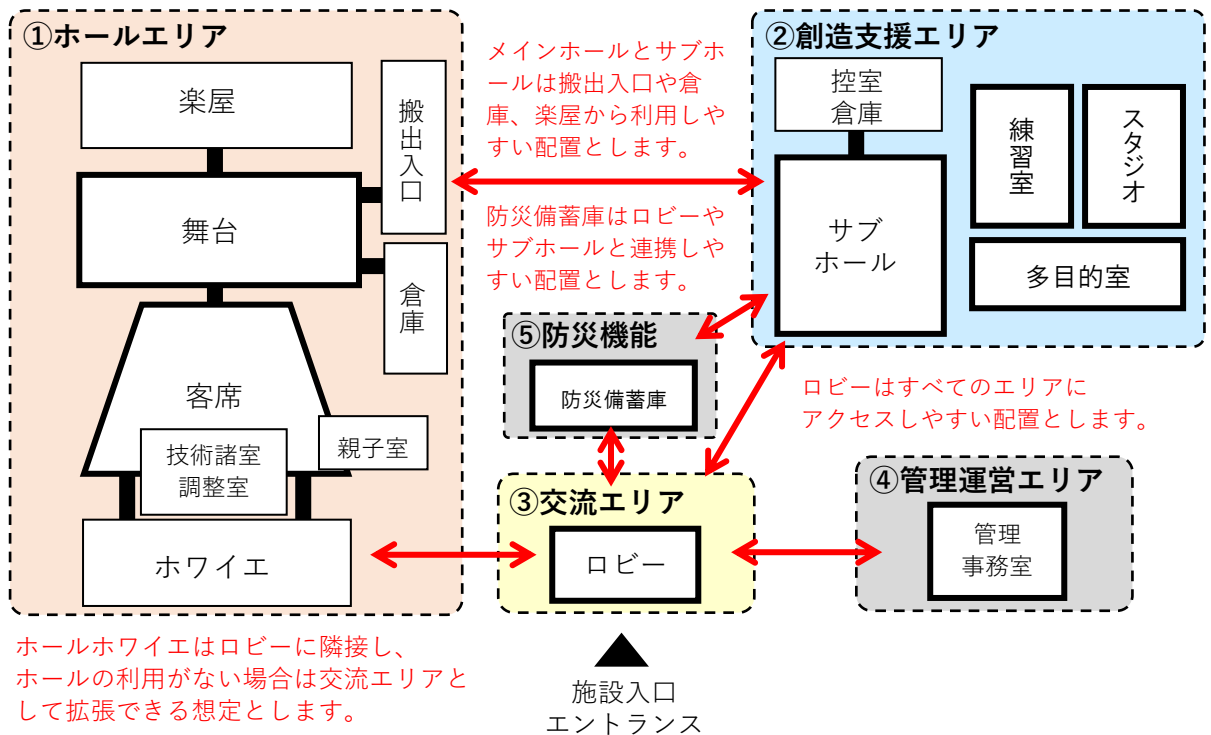
9. 全体施設想定規模

エリア		想定面積(㎡)	備考
ホールエリア	メインホール	2,500	
創造支援エリア		560	
交流エリア		250	
管理運営エリア		150	
防災備蓄庫		60	
小計		3,520	①
共用部		1,170	①×33%程度、廊下、階段等
機械室		810	①×23%程度
延床面積		5,500	

10. その他

- ・内装をはじめ、テーブルや椅子、玩具等へ県内産木材を活用し、温かみのある施設整備に配慮します。
- ・太陽光発電システム等、自然エネルギーを積極的に活用し、環境に優しい施設整備に配慮します。
- ・施設全体のネット環境を整備します。(オンラインイベント、WEB会議など)

【機能連携のイメージ】



第3章 管理運営に関する考え方

本基本計画では、市民ワークショップ等での市民意見を参考に、管理運営上のポイントについて示しています。

1. 管理運営の基本的な考え方

大洲市民文化会館は、「文化芸術に触れる機会を充実させる」「幅広い創造活動の拠点となる」「地域の文化・芸術を未来につなぐ」「親しみを持てる憩いの場を提供する」「市民の安心・安全を支える」の5つの役割を持つ施設です。

上記役割を担うためには、施設を貸し出すだけの管理を中心とした施設ではなく、何度も来館してもらえるような様々な事業を検討するとともに、開館日や開館時間等についても、近年の全国的な動向を踏まえつつ、利用しやすいルールづくりについて検討します。

また、文化芸術の拠点としての役割を十分に発揮していくため、専門的な人材の適正配置等、適切な管理運営主体の構築や市民参画、市民協働の体制確保についても検討します。

さらに、運営に係る費用については、自主事業による入場料収入や貸館による利用料金だけでなく、外部からの資金獲得にも積極的に取り組むことを検討します。

2. 事業の方針

公立文化施設の事業は、「自主事業」と「貸館事業」の大きく2つに分けることができます。

自主事業	施設の運営主体が主催する事業 施設の運営主体と他団体（民間企業・団体等）が共同で主催する事業
貸館事業	市民や文化団体、プロモーター等に施設を貸し出す事業

館独自の事業として運営者が主催又は他団体と共催で実施する事業のことを「自主事業」といいます。これまでの公立文化施設では、自主事業を行う際の広報宣伝やチケット販売等の業務全てと収支の責任を単独で担うものがほとんどでしたが、近年では、施設の管理運営者と上演団体等が共同で行う共催事業も増えてきました。他団体と協働することで、膨大な業務タスクと収支リスクを分担できるだけでなく、文化芸術や制作等についての情報交換が図られるため、職員のスキルアップや自主事業全体の質の向上も期待できます。

市民の文化芸術活動としての施設利用や各種団体等が借り手として主催する公演等

は「貸館事業」として、市民が良質な舞台芸術を鑑賞・体験する機会と捉えます。また、大洲市民文化会館が「幅広い創造活動の拠点となる」ために、ただ施設を貸し出すだけでなく、市民の文化芸術活動に対して、制作や舞台技術等のバックアップなどのサポートを充実させ、事業を通して文化芸術活動のレベルアップを推進します。

大洲市民文化会館においては、基本目標や役割の具体化に向けて多様な事業を展開し、市民の文化芸術活動の底上げや向上を図るとともに、日頃、文化芸術に触れることの少ない市民には、芸術の世界に触れるための新しい窓として認識し、活用してもらうことで、さらなる文化芸術の発展に寄与します。

3. 運営組織等

(1) 組織・体制の考え方

基本構想にも掲げた「専門性を持った人材の確保」と「市民参加の促進」を実現し、大洲市民文化会館が、「文化芸術と市民交流」拠点として根付き、施設の目指すべき役割を果たすため、国の動向や市の現況、整備手法等を踏まえて適正な管理運営主体の導入を検討します。

(2) 管理運営主体

公の施設を管理運営する方法として、市が直接運営を行う「直営」と特定の事業者に包括的に代行させる「指定管理」があります。指定管理者については、「民間事業者」「財団法人」「NPO法人」等があります。

【管理運営主体の主な特徴】

	直営	指定管理
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 文化政策や関連部署との連動性が高い 地域の実情を踏まえた運営や事業、市民協働が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的人材・ノウハウを有し、質の高いサービスや事業の提供が期待できる 予算の柔軟な運用や効率的な運営が可能 他市・全国と同等の事業の提供が期待できる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 人事異動によるノウハウの継承が難しく、専門的人材の継続的確保が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 法人形態（組織目的）によっては、非効率・不採算な事業には消極的になる 指定期間による人材・事業の不安定化、終了・交代に伴う混乱が生じる

	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の確保や運営面での縛りが多く、効率性や収益性のインセンティブ※5が働きにくい 	
--	---	--

(3) 管理運営業務

管理運営の主な業務は、以下のとおりです。

【主な業務内容】

運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ○自主事業に関する業務 ○貸館に関する業務 ○広報・情報発信関連業務 など
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ○舞台技術管理業務 ○施設・設備などの維持管理業務 ○共用スペース管理業務 など

これらの業務は、それぞれに専門性を求められることから、各業務を異なる主体が担当する事例もあります。

各業務の詳細内容等については、今後、策定する管理運営計画において検討しますが、各業務に適切な配置を行い、管理運営業務全体の効率化やサービスの質の向上の実現に向けて、様々な観点から検討する必要があります。

4. 施設利用の考え方

最新の舞台設備や、機能的な練習室等を備えることで、様々な文化芸術活動が可能となりますが、それらを最大限活用するためには、利用方法の細かなルール作りや利用目的別の適切な料金設定等が必要です。また、市民の幅広い創造活動の拠点となるためには、利用時間や予約方法等、市民のニーズや利便性を考慮した利用規則等を検討する必要があります。

今後、管理運営計画において、大洲市民文化会館にふさわしいルールの在り方を検討します。

【利用規則の検討方針】

休館日	施設を有効に利用していただくことを念頭に置いた休館日の設定
------------	-------------------------------

※5 意欲向上や成果目標達成を推進する外的要因

開館時間	部活動や仕事帰りの利用など、利便性に配慮した開館時間の設定
利用時間区分	練習室等はできるだけ短い単位での区分とするなど、諸室の特性に沿った利用時間の設定
利用料金	近隣他施設における料金や受益者負担の考え方を踏まえた適切な料金設定
予約手続き	予約時の利用者のニーズや手続きの利便性を考慮し、ホールや諸室の特性に応じた設定

5. 市民参加に関する考え方

劇場・ホールを運営するには、専門的な知識を有し、企画運営能力や施設の維持管理能力に長けた人材の確保が必要となりますが、同時に、市民をはじめ様々な主体との協働した取組が不可欠となります。

開館後も市民が『わたしたちのホール』と捉えられるような仕組みづくりを検討し、これまでの施設を利用したり、イベントへ参加したりする従来の「市民参加」の形から、施設の新しい使い方やイベント企画など、主体的に企画運営に参画していく「市民参画」の形への移行を目指します。

第4章 概算事業費と整備手法の検討

1. 概算事業費

近年整備された劇場施設の実績から、建設費単価を1㎡当たり75～85万円と仮定し、これに本施設の想定延べ床面積5,500㎡程度を乗じると約41億～47億円程度の建設費が想定されます。

なお、この事業費は、今後の詳細検討や社会経済情勢の変化などにより変動する可能性があります。基本目標を実現する性能を確保しながら、できる限り費用を抑えられるよう努めます。

このほか、設計費や用地取得費、外構整備費、備品購入費などが必要となります。

また、管理運営に係る経費として、開館準備に係る経費（パンフレット、プレイベント等）や維持管理費（光熱水費、清掃、警備、保守点検等）、運営費（利用受付、事業企画、舞台技術管理等）等があり、効率的かつ効果的な管理運営が求められます。

管理運営の詳細については、基本構想、基本計画の考え方を踏まえて「管理運営計画」の中で検討します。

2. 整備手法の検討

公共施設の整備においては、従来は設計、施工、維持管理、運営とそれぞれに対して仕様書に基づく直接発注によって行われてきました。

近年、PFI^{※6}の法整備もあって公共サービスへの民間活力導入（PPP）が盛んとなり、様々な民間事業者の活用による整備が行われています。

設計と施工を一体的に発注する「DB（デザインビルド）方式」のほか、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律に基づく「PFI方式」、財源の調達を除きPFI方式と類似する「DBO方式」等の採用も増えています。

適切な整備手法の選定に当たっては、整備対象となる施設の特性や役割、事業内容等を踏まえ選定する必要があります。

大洲市民文化会館は、本市にふさわしい施設の実現に向けて、「市民みんなで考える」をコンセプトに、構想段階から管理運営計画に至るまで市民の意見・要望を適切に反映していくことを目指しています。

整備手法の選定に当たっては、今後の本市の文化振興において、時代や状況の変化に柔軟な対応ができ、かつ、市民意見を反映しやすいことが最優先であることから、「従来手法」の採用が適当であると考えています。

※6 プライベート・ファイナンス・イニシアティブ

民間の資金や経営・技術的能力を活用して効率的に公共施設の建設・維持管理・運営等を行う手法

第5章 整備スケジュール

2029（令和11）年度の開館を目指し、おおむね以下のスケジュールで整備を進めます。

項目	2021年度 令和3年度	2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027年度 令和9年度	2028年度 令和10年度	2029年度 令和11年度
									開館 ▼
施設計画									
基本計画	■								
基本設計		■	■						
実施設計				■					
施工 (造成等含む)					■	■	■	■	
管理運営									
管理運営 計画				■	■				
備品選定 購入・設置							■	■	■
開館準備									■

資料編

1. 大洲市民文化会館整備基本計画策定の経緯について . . . 資料 1
2. 市民ワークショップについて . . . 資料 2

1. 大洲市民文化会館整備基本計画策定の経緯について

年度	年月日	内 容
R3	令和3年8月21日 第3回市民ワークショップ	テーマ「新しい文化施設の規模・機能を考えよう！」
	令和3年8月30日 第3回大洲市民文化会館建設に関する庁内検討委員会作業部会	・施設の規模、機能について ・整備手法について
	令和3年9月7日 第4回大洲市民文化会館建設に関する庁内検討委員会作業部会	・施設の規模、機能について ・整備手法について
	令和3年9月11日 第4回市民ワークショップ	テーマ「新しい文化施設の配置を考えよう！」 「新しい文化施設の管理運営について考えよう！」
	令和3年9月17日 第5回大洲市民文化会館建設に関する庁内検討委員会作業部会	・建設予定地における施設整備の考え方について ・管理運営の基本的な考え方について
	令和3年9月21日 第10回大洲市民文化会館建設に関する庁内検討委員会	・施設の規模、機能について ・整備手法について
	令和3年9月27日 第6回大洲市民文化会館建設検討審議会	・施設の規模、機能について ・整備手法について
	令和3年10月1日 第6回大洲市民文化会館建設に関する庁内検討委員会作業部会	・基本計画（素案）について
	令和3年10月14日 第7回大洲市民文化会館建設に関する庁内検討委員会作業部会	・基本計画（素案）について
	令和3年10月22日 第11回大洲市民文化会館建設に関する庁内検討委員会	・基本計画（素案）について
	令和3年10月29日 第7回大洲市民文化会館建設検討審議会	・基本計画（素案）について

年度	年月日	内 容
R3	令和3年11月8日 第2次答申書の提出 (審議会→市)	・施設の規模、機能について
	令和3年11月23日～ 令和3年12月24日	・パブリックコメントの実施
	令和4年1月20日 第12回大洲市民文化会館建設に関する庁内検討委員会	・基本計画(案)について
	令和4年1月31日 第8回大洲市民文化会館建設検討審議会	・基本計画(案)について

2. 市民ワークショップについて

市民ワークショップ

市内で文化活動に取り組む市民や中学生、高校生などが参加し、大洲市民文化会館について考えました。

(1) 第3回市民ワークショップ

開催日時：令和3年8月21日（土）14：00～16：00

参加人数：21名

テーマ：「新しい文化施設の規模・機能を考えよう！」

第3回市民ワークショップ「新しい文化施設の規模・機能を考えよう！」	
このような施設を考えました！	諸室の優先順位
<p>テーマ：「みんなでわいわい楽しむ施設！」</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>メインホール 800席</p> <p>スポーツ選手の講演会やダンス公演で学校単位で集まるために大きなホールを！</p> <p>これから広まってくるeスポーツにも対応！</p> <p>打楽器を運搬するための広いバックヤード</p> <p>ステージ裏に行くまでの通路を広く</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>リハ室</p> <p>命蓮室 練習室 和室 多目的室 物販 飲食 交流 防災備蓄庫 運営事務室</p> </div> </div> <p>＜リハーサル室＞ 展示室等にも使える重ね使い</p> <p>＜練習室＞ ダンス練習のための旗振り</p> <p>＜スタジオ＞ 楽器練習や詩吟のために防音が大事！</p> <p>＜多目的室＞ 席数20～50席の用途を絞らない</p> <p>＜交流スペース＞ 自由に勉強できるスペース 飲食しながらでも居られる場所。学校を超えた、市内の交流が深まるようなところ、Wi-Fiの完備</p> <p>＜物販飲食＞ 農業高校生生の作ったものを食べられる飲食スペース 農業祭のような販売会を月に1,2回開催</p>	<p>★絶対必要！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・800席のホール ・防音完備の部屋 ・旗振りの練習室 ・勉強もできる交流スペース <p>★あった方が良い！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタジオはたくさんあった方が良い！

第3回市民ワークショップ「新しい文化施設の規模・機能を考えよう！」	
このような施設を考えました！	諸室の優先順位
<p>テーマ：「ムダのない機能的なホール！」</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>メインホール 600席</p> <p>ゆとりのある搬出入スペース（舞台と同じ高さ）</p> <p>演者と客の動線確保</p> <p>座席の高さを調整できるものの費出</p> <p>ロビー</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>リハ室兼サブホール 200名</p> <p>和室 多目的室 運営事務室</p> </div> </div> <p>＜リハーサル室兼サブホール＞ 仕切り等を使用して部屋を複数作る（防音）</p> <p>＜和室＞ 和装の着替え等更衣室（8畳2間）</p> <p>＜多目的室＞ 会議や楽器演奏、控室など</p> <p>＜ロビー＞ 展示室を兼ねる 待ち時間が長い！→自動販売機の設置</p>	<p>★絶対必要！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインホール ・リハーサル室兼サブホール ・ロビー兼展示室 <p>★あった方が良い！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的室 <p>★できれば欲しい！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和室

第3回市民ワークショップ「新しい文化施設の規模・機能を考えよう！」

このような施設を考えました！		諸室の優先順位
C グループ	<p>テーマ：「800席の大ホール”ワクワクを伝えたい”</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>メインホール 800席</p> <p>メインホールを核として、市内外のつながりの和の拠点にしたい</p> <p>舞台芸術特化型</p> <p>メインホール・サブホール控室は、防音設備が必要</p> <p>練習小 練習大</p> <p>メインホール控室を練習室・スタジオとして重ね使い</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>運営事務室</p> <p>防災備蓄庫</p> <p>ロビー</p> <p>サブホール 200名</p> </div> </div> <p>会議室は総合福祉センターとの共用・連携・共存 <ロビー> 大洲の文化の発信拠点（お祭り、伝統文化） 伝統をワクワクするものとして伝えたい 一角に物販・飲食スペース 壁面に展示・掲示できるように（日常的な展示、催事の際は総合福祉センター） <サブホール> 控室を楽屋・活動室として重ね使い、 1面だけでも鏡張りに（隠すことも可能） 平土間汎用性 控室を鏡張りの練習室に 音出し・天井高さは展示：2～2.5m 音楽：高い方が良い</p>	<p>★絶対必要！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・800席のメインホール ・防音のスタジオ <p>★あった方が良い！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示スペース ・鏡張りの部屋 <p>★できれば欲しい！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の発信 ・カフェスペース

第3回市民ワークショップ「新しい文化施設の規模・機能を考えよう！」

このような施設を考えました！		諸室の優先順位
D グループ	<p>テーマ：「音響、音楽、避難所、防災」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>メインホール 800席</p> <p>ホール内は飲食可能に</p> <p>階段状座席にせず可動式座席</p> <p>階段状座席にして音響を良く</p> <p>座り心地の良い椅子(固定席)</p> <p>母子（親子）室</p> <p>メインホールとサブホールでピアノを共有できる動線</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>調理室 <small>スタジオ</small></p> <p>多目的 <small>スタジオ</small></p> <p>サブホール 200名</p> <p>防災備蓄庫</p> <p>運営事務室</p> </div> </div> <p><調理室> 避難所として必要 <多目的室> 練習室を兼ねる <スタジオ> アンサンブルの練習、詩吟の録音 <サブホール> 音楽に特化するようなサブホール 音響重視 固定席希望（すり鉢） サロンコンサート ピアノを共有するなら、メインホールのステージとサブホールを近くに</p>	<p>★絶対必要！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインホール ・サブホール ・スタジオ <p>★あった方が良い！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理室 ・多目的室 <p>★できれば欲しい！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着替えのできる部屋 ・和室 ・練習室（小） ・バレエ室（ダンス室） ・リハーサル室 ・団体の備品置場

大洲市民文化会館をみんなで考える市民ワークショップ

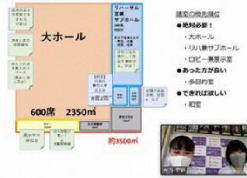
第3回

「新しい文化施設の規模・機能を考えよう！」

発行：大洲市 / 編集：(株)シアターワークショップ

“みんなで考える市民ワークショップ” 基本計画編がスタート！諸室の詳細について検討しました！！

グループ①：この施設をひとことであらわすと（テーマ）
「ふたのひたい、機能性のホール！」



意見発表の様子



ワークショップ参加のみなさま

大洲市では市民ワークショップやアンケートなどのご意見を参考に、施設整備の基本的な方向性等をまとめた「大洲市民文化会館（仮称）整備基本構想」を令和3年7月に策定しました。今年度は、この基本構想を踏まえ、基本計画編と題して、施設の詳細について検討する市民ワークショップを開催していきます。

基本構想を踏まえ、大きく分けて次の4つのエリアに対して、必要な諸室（施設構成）について、各グループで意見を出し合いました。諸室を収める想定面積を設定し、施設の規模をイメージしながら、枠の中に諸室を配置して施設構成を作り上げていきました。「全ての機能を入れようとするとなかなか枠に収まらない」、そんな悩みも、欲しい諸室の優先度や一つの部屋で複数の使い方をする「重ね使い」を考えながら、皆様の思いがカタチとして出来上がっていききました。最後に、出来上がった案に施設のテーマを設定しました。

①「ホールエリア」は、コンクールや学校単位でのダンス公演、学校間の交流イベント、大規模講演会、本物の文化芸術に触れる鑑賞機会の充実等、ホールの使い方についての意見や、搬入や利用者の動線に配慮したバックヤード等の広さのほか、楽屋や控室については防音性を高め、練習室や会議室として重ね使用することについての意見がありました。

②「創造支援エリア」は、リハール室としても使える防音性の高いサブホールや、防音のスタジオ、鏡張りの練習室、和室、用途を限定しない多目的室等の意見がありました。

③「交流エリア」は、学校や団体、世代間を超えた交流が生まれる空間として、販売会や展示、飲食、学生の勉強スペース等の充実を求める意見がありました。

ワークショップ『なんでもアンケート』より 皆様のご意見や感想！（抜粋）

何度か水害の被害にあっているので防災に対応できる部屋はとて必要だと思いました。

同じ800人収容ホールをメインとしながら、グループの発想の違いが勉強になった。

様々な年代の方からいろんな意見を聞くことができ、とても良い経験になりました。

市民のいやしとなるような場になればなと思います。

だんだん具体化していくようで嬉しく思っています。

音楽の発表に適したホールを取り入れていただきたいです。

いろいろな人の意見を聞いたり話をしたりできて、コミュニケーションをとることができました。

みんなでくつろげるスペースがあったらいいと思いました。

④「防災機能」は、災害時の防災備蓄庫の設置に加え、災害対応の重要性を求める意見がありました。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、前年度同様、「完全オンライン化」での開催となりましたが、参加者から活発なご意見をいただき、少しずつですが市民文化会館の「カタチ」が見えてきたワークショップとなりました。

今回のワークショップは、9月11日（土）。「新しい文化施設の配置と管理運営を考えよう！」を予定しています。次回のニュースレターもお楽しみに♪

『新しい文化施設の規模・機能』ご意見のまとめ（抜粋版）

	このような施設を考えました！	諸室の優先順位
A グループ	<p>テーマ：「みんなでわいわい楽しむ施設！」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>メインホール 800席</p> <p>スポーツ選手の講演会やダンス公演で学校単位で集まるために大きなホールを！</p> <p>これから広まってくるeスポーツにも対応！</p> <p>打楽器を運搬するための広いバックヤード</p> <p>ステージ裏に行くまでの通路を広く</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>リハ室</p> <p>会議室 練習室 和室 多目的室</p> <p>物販 飲食 交流</p> <p>防災備蓄庫</p> <p>運営事務室</p> </div> </div> <p><リハーサル室> 展示室等にも使える 重ね使い</p> <p><練習室> ダンス練習のための鏡張り</p> <p><スタジオ> 楽器練習や詩吟のためには防音が大事！</p> <p><多目的室> 席数20～50席の用途を絞らない</p> <p><物販飲食> 農業高校生徒の作ったものを食べられる飲食スペース 農業祭のような販売会を月に1,2回開催</p>	<p>★絶対必要！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・800席のホール ・防音完備の部屋 ・鏡張りの練習室 ・勉強もできる交流スペース <p>★あった方が良い！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタジオはたくさんあった方がよい！
B グループ	<p>テーマ：「ムダのない機能的なホール！」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>メインホール 600席</p> <p>ゆとりのある搬出入スペース（舞台と同じ高さ）</p> <p>演者と客の動線確保</p> <p>座席の高さを調整できるものの貸出</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>リハ室兼サブホール 200名</p> <p>和室 多目的室</p> <p>運営事務室</p> </div> </div> <p><リハーサル室兼サブホール> 仕切り等を使用して部屋を複数作る（防音）</p> <p><和室> 和装の着替え等更衣室（8畳2間）</p> <p><多目的室> 会議や楽器演奏、控室など</p> <p><ロビー> 展示室を兼ねる 待ち時間が長い！→自動販売機の設置</p>	<p>★絶対必要！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインホール ・リハーサル室兼サブホール ・ロビー兼展示室 <p>★あった方が良い！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的室 <p>★できれば欲しい！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和室
C グループ	<p>テーマ：「800席の大ホール」ワクワクを伝えたい」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>メインホール 800席</p> <p>メインホールを核として、市内外のつながりの和の拠点にしたい</p> <p>舞台芸術特化型</p> <p>メインホール・サブホール控室は、防音設備が必要</p> <p>練習小 練習大</p> <p>メインホール控室を練習室・スタジオとして重ね使い</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>運営事務室</p> <p>防災備蓄庫</p> <p>ロビー</p> <p>サブホール 200名</p> </div> </div> <p>会議室は総合福祉センターとの共用・連携・共存</p> <p><ロビー> 大洲の文化の発信拠点（お祭り、伝統文化） 伝統をワクワクするものとして伝えたい 一角に物販・飲食スペース 壁面に展示・掲示できるように（日常的な展示、催事の際は総合福祉センター）</p> <p><サブホール> 控室を楽屋・活動室として重ね使い、1面だけでも鏡張りに（隠すことも可能） 平土間汎用性 控室を鏡張りの練習室に 音出し・天井高さは展示：2～2.5m 音楽：高い方が良い</p>	<p>★絶対必要！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・800席のメインホール ・防音のスタジオ <p>★あった方が良い！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示スペース ・鏡張りの部屋 <p>★できれば欲しい！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の発信 ・カフェスペース
D グループ	<p>テーマ：「音響、音楽、避難所、防災」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>メインホール 800席</p> <p>ホール内は飲食可能に</p> <p>階段状座席にせず可動式座席</p> <p>階段状座席にして音響を良く</p> <p>座り心地の良い椅子（固定席）</p> <p>母子（親子）室</p> <p>メインホールとサブホールでピアノを共有できる動線</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>調理室 多目的室</p> <p>サブホール 200名</p> <p>防災備蓄庫</p> <p>運営事務室</p> </div> </div> <p><調理室> 避難所として必要</p> <p><多目的室> 練習室を兼ねる</p> <p><スタジオ> アンサンブルの練習、詩吟の録音</p> <p><サブホール> 音楽に特化するようなサブホール 音響重視 固定席希望（すり鉢） サロンコンサート ピアノを共有するなら、メインホールのステージとサブホールを近くに</p>	<p>★絶対必要！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインホール ・サブホール ・スタジオ <p>★あった方が良い！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理室 ・多目的室 <p>★できれば欲しい！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着替えのできる部屋 ・和室 ・練習室（小） ・ハレ工室（ダンス室） ・リハーサル室 ・団体の備品置場

問い合わせ先 Tel:0893-24-1721 〒795-8601 大洲市大洲690番地の1 大洲市役所 財政契約課 管財係

(2) 第4回市民ワークショップ

開催日時：令和3年9月11日（土）14：00～16：00

参加人数：19名

テーマ：「新しい文化施設の配置を考えよう！」

「あたらしい文化施設の管理運営について考えよう！」

第4回市民ワークショップ「新しい文化施設の配置を考えよう！」

グループA

●敷地について考えよう

●ブロックを配置してみよう

国道56号
大洲高校から放課後行くのは少し難しい？

敷地がいびつなので、三角の部分は駐車場？
建物は両側に寄るかな……

おうちから行くなら……
・車
・（北中周辺からは）徒歩、自転車
・バスでは乗り換えが必要……
・電車、バスで行けるけれど、1,2時間に一本。時間帯によっては車が必要。
・ぐるりんバスを利用すればアクセス簡単。（便数が増えればもっと……!）

駅から徒歩では少し遠い。15分くらい。

農業高校には近い

大洲北中から近い。学校が終わってから行ける！

国道56号から直接入れるのが望ましい。

福祉センターの真向かい。両方の駐車場を相互利用できたら良い！

近くにお店がたくさんある。

●チームのこだわりポイントをまとめてみよう

敷地の右側に大きく空間を空ける。

ホールが良く見えるように。

福祉センターとの駐車場の共有をしやすいように。

アクセスしやすい運営事務室

第4回市民ワークショップ「新しい文化施設の配置を考えよう！」

グループB

●敷地について考えよう

●ブロックを配置してみよう

駅に近くアクセスは良い

街の中心部

自宅からは車移動
徒歩で行ける距離

周辺にはスーパーや飲食店などが充実

56号から車両が入れた方が良い

隣が総合福祉センター

●チームのこだわりポイントをまとめてみよう

大ホールは客席側が東側を向いている

搬入車両と一般駐車場は分かれていた方が良い

サブホールの機能は大ホールが担い、サブホールはなくても良いかも？

総合福祉センターの利用者も使いやすいよう、駐車場は東側に

大ホール舞台と搬入口は隣接

運営事務室は利用者が訪れやすい施設正面に

南側の飛び地は関係者用駐車場に

作業部会)

第4回市民ワークショップ「新しい文化施設の配置を考えよう！」

グループC

●敷地について考えよう

●ブロックを配置してみよう

農業高校から近い
(市京高からは少し遠いが、近くなった)

いろいろな人が利用しやすい

家からは遠くなった

立地は良い
市の中央に近くなった

近くに飲食店がある

JRの駅から近い

広い道路からも入りやすい

交通量の少ない道路からも入れるので安心

国道56号線に面した方が良いが、福祉センター側の道路が広い

交流スペース

車寄せ

広場・ベンチ緑

大津市民文化会館をみんなで考える市民ワークショップ 第4回 2021年9月11日(土)

商業施設から離れているので、混雑しにくい

歴史・商業施設の多い地域ではない

●チームのこだわりポイントをまとめてみよう

56号線からトラックが入れると良い

搬入口は大ホール・サブホールのどちらの舞台にも近くに配置

ホールを離して配置→防音

南側のホワイエはガラス張り、展示スペースとしても利用

防災備蓄倉庫は2階→水害対策

福祉センター駐車場も利用

第4回市民ワークショップ「新しい文化施設の配置を考えよう！」

グループD

●敷地について考えよう

●ブロックを配置してみよう

徒歩ではちょっと遠いかな、、、車がメインでは

歩いていくのはちょっと遠いかも、、

今はあまりいったことがない

通り抜けがあったほうが良いのでは

国道56号

大津市民文化会館をみんなで考える市民ワークショップ 第4回 2021年9月11日(土)

周りに飲食が少なめかも？喫茶店などは近くにあるといい

時間をつぶすところがない。

●チームのこだわりポイントをまとめてみよう

連携を考慮するとこちらから入るのはよいのでは

第4回市民ワークショップ「新しい文化施設の管理運営について考えよう！」				
		現状	未来（現状のままで良いor新たなアイデア）	市民参加
A グループ	時開館 間日	【休館日】 毎週月曜 +年末年始 【開館時間】 9時～22時	・ミュージアム、会館等、月曜休館のところが多いので、ここも月曜休館でよい。 ・9時～22時で十分だと思う ・朝早く開けてほしい人もあるかもしれない。 ・原則9～22時で、前後30分延長 ・いつも部活が8時30分からで、9時まで待ったことがある。 ・大人のレッスンで21時からの例もあるので、もう少し閉館時間が遅いほうが良いかも。	・自分たちでイベントの企画をやってきたので、専門的な部分を除いて、ボランティアスタッフとしてかかわっていくことはできるかもしれない。 ・フリースペースみたいなものを作っていたら、そこでいろいろの方が自由にイベントをやって、盛り上げていけると思う。 ・ボランティアを始める際のきっかけが難しいので、レクチャー等を定期的に開いてほしい。
	利用 料金	土日祝料金あり 入場料加算あり	・借りる立場としては安い方が良いが、土日祝の加算はやむを得ないかな..... ・市民割を設定し、市民が使いやすい料金にしたい。 ・全ての日で一律料金のほうが使いやすいと思う。 ・営利目的の場合と、学生さんの利用などボランティアでの活動の場合と、料金に違いがあると良い。	・Webでボランティア登録、サポートスタッフ登録ができれば、メールでお知らせを受け取ってお手伝いに行けると思う。 ボランティアに参加したい気持ちのある人たちはたくさんいると思う。
	予約 方法 区分 など	午前・午後・ 夜間の3区分制 ・ 窓口予約 現金支払い	・3区分制でなく時間で区切るのが良い（1時間、2時間等） ・申込開始は長めに設定し、半年前くらいが良い。 ・1か月前を予約締切にし、直前の受付はしなくて良いと思う。 ・インターネット予約ができないと時代に対応できない。（ネット予約の場合はカード支払いが良い。いろんな支払い方法が使えたらベスト。） ・予約状況もネットでわかるように。 ・今まで通りの窓口予約も両立し、誰もが簡単に予約できたほうが良い。	

第4回市民ワークショップ「新しい文化施設の管理運営について考えよう！」				
		現状	未来（現状のままで良いor新たなアイデア）	市民参加
B グループ	時開館 間日	【休館日】 毎週月曜 +年末年始 【開館時間】 9時～22時	・休館日は現状のままでOK ・朝8時～開館も可能など、柔軟に利用者の要望に応えられるようにしてほしい（吟詠大会の準備時間を確保したい） ・指定管理になれば柔軟な開館時間・休館日が設定できるのでは。	・作った食べ物や植物などを共用部で販売するなどの協力ができそう
	利用 料金	土日祝料金あり 入場料加算あり	・できるだけ今の料金設定を維持。 ・冷暖房費は利用料金に含める方が良い。 ・駐車場の料金が福祉センターは無料なので、慎重に考える必要がある。	
	予約 方法 区分 など	午前・午後・夜 間の3区分制 ・ 窓口予約 現金支払い	・区分の他に時間制の予約もできると良い。 ・延長利用したい時にも時間制の予約ができると便利 ・HP上で空き状況を確認でき、仮予約までできると良い。 ・施設利用時に来年の予約が取れる今の方法で満足 ・電話予約ができる現状が良い。	

第4回市民ワークショップ「新しい文化施設の管理運営について考えよう！」			
	現状	未来（現状のままで良いor新たなアイデア）	市民参加
C グループ	時開館間日 【休館日】 毎週月曜 +年末年始 【開館時間】 9時～22時	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜が祝日だったら振り替えにしたら良い。 ・年中コンサートがあるわけではないが、選択肢を広げたい（特例は基準が曖昧） ・基本、年中無休が良い（利用が増えるのは利点） ・閉館時間は今まで通り ・運営スタッフはシフト制 ・学生は年に2～3回しか使ったことがない。音楽会等のみ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートスタッフ市民の希望・要望を募る。 ・専門家・指定管理者・市民・行政の協働の催事 ・鑑賞者だけでなく、利用者として参加したい。 ・来館者・鑑賞者として参加したい。
	利用料金 土日祝料金あり 入場料加算あり	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外で同一料金でよいのでは？（市外の人が使いにくくなるため）多くの人に使ってほしい。 ・冷暖房費用を施設利用料金に含めた方がよいのでは？（別々だと精算が大変、明瞭な方がよい） ・利用料は無料が良いが、設備を考えると利用料が多少高くてもやむを得ないのでは。 ・基本利用料金と冷暖房費は別の方が良い。（冷暖房を使わない時期もある） 	その他
	予約方法など 貸出区分 午前・午後・夜間の3区分制 ・窓口予約 現金支払い	<ul style="list-style-type: none"> ・（狭い部屋は特に）複数グループが重なった時のために、利用時間区分は必要。ただ柔軟性も必要。 ・狭い部屋は時間貸しが良い。 ・音響・スタッフの動きがリハと本番で異なる（リハはほぼ待機）料金が同じなのはどうか？リハ・練習料金制度を設ける。 ・コンサート・プロの興行（有料）と市民の発表会（無料）で料金体系を変えて良いのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理より直営が良い。 ・指定管理者にしている施設が多いが、制約を決められてしまうのは避けたい。（市民の意見を反映してほしい）

第4回市民ワークショップ「新しい文化施設の管理運営について考えよう！」			
	現状	未来（現状のままで良いor新たなアイデア）	市民参加
D グループ	時開館間日 【休館日】 毎週月曜 +年末年始 【開館時間】 9時～22時	<ul style="list-style-type: none"> ・休館は今のままでよいのでは ・30分前開館が良い（事前準備） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状：C（事業の企画）まではやっている。 ・自主事業 → 市民参画 ・のびのびと参加できる環境が良い。 B（サポートスタッフ）C（事業の企画）の間くらい
	利用料金 土日祝料金あり 入場料加算あり	<ul style="list-style-type: none"> ・市民割引が欲しい ・学生割引（特にコンクール前は安く！） 	
	予約方法など 貸出区分 午前・午後・夜間の3区分制 ・窓口予約 現金支払い	<ul style="list-style-type: none"> ・時間制にしたい。（大ホールも！） ・子供発表会は、15時、16時頃には終わる ・練習利用はインターネットで！ ・クレジットで支払い ・ネット・電話予約 	

大洲市民文化会館をみんなで考える市民ワークショップ

第4回

「新しい文化施設の配置を考えよう！」 「新しい文化施設の管理運営について考えよう！」

発行：大洲市 / 編集：(株)シアターワークショップ

“みんなで考える市民ワークショップ” 市民文化会館への熱い想いを受け取りました！

令和3年9月11日(土)

第4回「大洲市民文化会館をみんなで考える市民ワークショップ」を開催しました。基本構想・基本計画編として開催してきたワークショップは最終回となります。

最終回のテーマは、「新しい文化施設の配置を考えよう！」と「新しい文化施設の管理運営について考えよう！」の2本立て。

4グループに分かれて、盛りだくさんの内容について、時間いっぱい熱い想いを話し合っていました。

まず、施設の配置を考えるワークショップでは、周辺環境の特徴を踏まえながら、敷地にブロック模型を配置していきましました。少し難しいテーマでしたが、「市民文化会館を建ててみる」という作業から、総合福祉センターとの駐車場の相互利用車両・徒歩でのアプローチ、客席の配置、屋外交流スペースの確保等、市民が集いやすい空間づくりについて、たくさんのご意見をいただきました。

管理運営を考えるワークショップでは、「開館日・時間」、「利用料金」、「貸出区分・予約方法」等の規則や新しい施設運営に市民がどのように関わっていただけるのか「市民参加のかたち」をテーマに考えていただきました。

具体的に、諸室の用途に応じた時間制の料金区分や料金設定、ネットによる予約・決済システム等についてご意見をいただきました。

また、自主事業による市民参加等、施設との関わり方についてもご意見をいただきました。

『新しい文化施設の配置』ご意見のまとめ (抜粋版)

Aグループ

- 敷地の右側に大きく空間を空ける！
- ホールがよく見えるように
- 総合福祉センターとの駐車場の共用
- アクセスしやすい運営事務室

Bグループ

- メインホールは客席を東側に！
- 搬入車両と一般駐車場は分離
- 総合福祉センターの利用者も使いやすいよう、駐車場は東側に
- 運営事務室は利用者が訪れやすい正面
- 南側の敷地は関係者駐車場に

Cグループ

- 搬入口はメインホール・サブホール近く
- 南側ホワイエはガラス張りにし、展示スペースとしても利用！
- 防災備蓄庫は2階に配置し、水害対策
- 防音に配慮し、ホールを離して配置
- 総合福祉センター駐車場も利用する

Dグループ

- 2案を提示！
- 一般車両と搬入・関係者駐車場の動線を分けて配置。それぞれの利用者が使いやすいように！

敷地について

【アクセス】

- JR駅に近くアクセスは良い

【移手段】

- メインは車

【敷地利用】

- 総合福祉センターと駐車場の相互利用

【周辺環境】

- 総合福祉センター側道路が広い
- 交通量の少ない道路から入れるので安心

交流スペース

車寄せ

広場・ベンチ・緑

搬入関係者駐車場

一般車両動線

搬入動線

一般車両動線

今後について

いただいたご意見を参考に、基本計画を策定していきます(令和4年3月予定)。

今後の基本設計や管理運営計画においても、皆様との対話を重ねながら、「市民みんなで考える」をコンセプトに、施設整備を進めていきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

『新しい文化施設の管理運営』ご意見のまとめ（抜粋版）

	開館日・時間	利用料金	貸出区分・予約方法	●市民参加のかたち
	・現状のままで良い点 ★新たなアイデア ◆その他			
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜休館が良い ・9時～22時で十分 ★原則9～22時で、前後30分延長 ★少し閉館時間が遅い方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝の加算はやむを得ない ★市民割を設定し、市民が使いやすい料金に ★全ての日で一律料金 ★営利目的、学生利用、ボランティア活動等で料金に違いがあるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで通りの窓口予約も両立 ★3区分制でなく時間で区切る ★申込開始は長めに設定が良い ★1か月前を予約締切にし、直前受付はしなくてよい ★ネット予約の場合はカード支払いが良い ★予約状況もネットで分かるように ★いろんな支払い方法が使えたらベスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアスタッフとして ●フリースペースがあれば自由にイベントをやって、盛り上げていける ●Webでボランティア登録、サポートスタッフ登録ができればメールでお知らせを受け取ってお手に行ける ●ボランティアに参加したい人はたくさんいる ●ボランティアを始める際のレクチャー等を定期的に行ってほしい
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・休館日は現状のままで良い ★朝8時から開館など、利用者の要望に柔軟に応えられるようにしてほしい（吟詠大会の準備時間を確保） ★指定管理になれば柔軟な開館時間、休館日が設定できるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の料金設定を維持 ★冷暖房費は利用料金に含める ◆駐車場の料金が総合福祉センターは無料なので、慎重に考える必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話予約できる現状が良い ★HP上で空き状況を確認でき、仮予約までできるとよい ★区分の他に時間制の予約もできるとよい ★延長利用したい時にも時間制の予約ができると便利 	<ul style="list-style-type: none"> ●作った食べ物や植物などを共用部で販売するなどの協力ができそう
Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間は今まで通り ★基本、年中無休が良い ★運営スタッフはシフト制 ◆学生は年に2～3回しか使ったことがない ◆音楽会等ののみ利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の人が使いにくなってしまうため、市内外で同一料金が良く、多くの人に使ってほしい ・冷暖房を使わない時期もあるため、基本利用料金と冷暖房費は別の方が良い ★冷暖房費用を施設利用料金に含めた方がよい ◆利用料は無料が良いが、設備を考えると利用料が多少高くてもやむを得ない 	<ul style="list-style-type: none"> ★（狭い部屋は特に）複数グループが重なった時のために利用時間区分は必要、ただ柔軟性も必要 ★狭い部屋は時間貸しが良い ★コンサート・プロの興行（有料）と市民の発表会（無料）で料金体系を変えてよい ★リハ・練習料金制度 	<ul style="list-style-type: none"> ●サポートスタッフ、市民の希望や要望を募る ●専門家・指定管理者・市民・行政の協働の催事 ●鑑賞者だけでなく、利用者として参加 ●来館者・鑑賞者として参加
Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・休館日は今のままでもよい ★事前準備のため、30分前の開館が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ★市民割引が欲しい ★学生割引（特にコンクール前は安く） 	<ul style="list-style-type: none"> ★メインホール含め、時間制にする ★練習利用はインターネット予約 ★クレジット支払い ★ネット、電話予約 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主事業で市民参加 ●のびのびと参加できる環境

ワークショップにご参加の皆様
本当にありがとうございました！



新型コロナウイルス感染症から、参加型のワークショップが、開催できず、全ての開催とオンラインでの開催となり、初めての試みであったため、スタッフ一同、不安を抱えておりましたが、ご参加いただいた皆様のご協力により、無事に開催することができました。本当にありがとうございました！

ワークショップ『なんでもアンケート』より、皆様のご意見や感想！（抜粋）

配置と管理体制という難しい内容で苦戦しました

新しい市民文化会館の完成を楽しみにしています！

自由に利用できるフリースペースが欲しい

大洲の未来について考える機会に参加できて良かったです

様々な年代の方とお話をしてみたい経験も聞かせてほしいと思いました

打楽器を搬入する時、トラックをべた付けできるようにしてほしいです

お年寄りや障害のある方々にも楽しんでいただける優しい施設にしてほしい

職員の方が見えて話し掛けやすい雰囲気（入りやすい入口）になってほしいです

4回のワークショップを通して触れ合えたグループの皆様に感謝です！

問い合わせ先 Tel:0893-24-1721 〒795-8601 大洲市大洲690番地の1 大洲市役所 財政契約課 管財係

大洲市民文化会館整備基本計画

発行：大洲市 総務部 財政契約課

〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690番地の1

TEL：0893-24-2111（代表） FAX：0893-24-2228

編集協力：株式会社シアターワークショップ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前六丁目23番3号 第9SYビル4階

TEL：03-5766-3555 FAX：03-6433-5390